

第 9 0 回幹事会議事要旨

日 時 平成 2 2 年 2 月 2 5 日 (木) 1 4 : 0 0 ~ 1 7 : 1 5

場 所 日本学術会議大会議室

出席者 (会 長) 金澤 一郎

(副会長) 大垣眞一郎、鈴村興太郎、唐木 英明

(第一部) 広渡 清吾

(第二部) 北島 政樹、山本 正幸、鷲谷いづみ

(第三部) 後藤 俊夫、池田 駿介、海部 宣男

(事務局長) 竹林 義久

(事務局次長) 綱木 雅敏

(課長等) 井上 卓、市川 高義、廣田 英樹、古西 真、原嶋 耐治、
影山 洋一

審議事項等

1 非公開審議事項について審議が行われた。

- (1) 国際委員会運営要綱の一部改正及び委員の決定が承認された。
- (2) 分野別委員会運営要綱の一部改正及び委員の決定等が承認された。
- (3) 外部委員候補者の推薦について承認された。
- (4) その他事項として次のことについて話し合われた。
- (5) ・日本学術会議の機能強化について話し合われ、今後幹事会で検討していくこととなった。
・4月以降の課題別委員会の審議テーマについて各部から説明があり、次回以降の幹事会に順次設置提案書により提案していくこととなった。

2 前回議事要旨等の確認が行われた。

3 審議事項について、審議が行われた。

- (1) 提言「生物多様性の保全と持続可能な利用：学術分野からの提言」について、統合生物学委員会鷲谷いづみ委員長から説明があり、審議の結果、所要の修文を行うことを条件に承認された。
- (2) 報告「黄砂・越境大気汚染物質の地球規模循環の解明とその影響対策」について、農学委員会風送大気物質問題分科会真木太一委員長から説明があり、審議の結果、所要の修文を行うことを条件に承認された。
- (3) 提言「学術の大型施設計画・大規模研究計画-企画・推進策の在り方とマスタープラン策定について-」について、科学者委員会学術の大型研究計画検討分科会海部宣男幹事から説明があり、審議の結果、所要の修文を行うことを条件に承認された。
- (4) 日本学術会議の意思の表出の政府内への周知方法の一部改正について承認された。
- (5) 平成 2 2 年度代表派遣実施計画及び代表派遣 (4 ~ 6 月分) について承認された。
- (6) 国際会議等への会員の派遣について承認された。
・アジア学術会議に関する各国機関等との打合せに係る会員の派遣

- ・ G 8 学術会議への会員の派遣
- ・ 国際科学会議ユニオン会員会合及び国際科学会議第 102 回理事会 (Meeting of ICSU International Scientific Union Members 及び ICSU 102nd Meeting of Executive Board) 出席に係る会員の派遣
- ・ STS forum 評議会 (The Science and Technology in Society (STS) forum Council Meeting) 出席に係る会員の派遣
- ・ インターアカデミーカウンスル理事会及び IAC / IAP ジョイントミーティング等への会員の派遣

(7) 平成 24 年度開催国際会議の共同主催候補について承認された。

(8) シンポジウム等の主催、国内会議の後援について承認された。

4 その他事項として次のことについて話し合われた。

(1) 日本の展望委員会の 13 の分野別・テーマ別分科会提言及び 31 の分野別委員会報告の幹事会の承認については、日本の展望委員会の決定をもって幹事会の承認とすることとした。

(2) 総会日程について会長から説明があった。

(3) 総会期間中の幹事会については、4 月 6 日 (火) 10 時より開催することとした。